

平成二十七年 例大祭

今年も7月1日の入舸稲荷神社・積丹神社・野塚稲荷神社を皮切りに町内各地区で伝統ある例大祭が開催され、やっこ行列や神輿、山車などそれぞれ特色あるお祭りを地域住民やこの日のために帰省した方々が一丸となって盛り上げました。

強い初夏の陽射しが降り注ぐ中、威勢の良い掛け声や歓声が飛び交った祭典の一部を写真で紹介します。

※幌武意地区は神輿渡御がありませんでした。



美国



日司



入舸



野塚



神威

神威神社例大祭には北海道大学OBと学生がやっこ行列に参加しました。

第65回 社会を明るくする運動

積丹町作文・標語入選作品

◆作文の部◆

〈小学生の部〉

銅賞 「幸福のあいさつ」

佳作 「幸せのお風呂」

〈中学生の部〉

金賞 「世代を超えたつながり」

佳作 「1つの仕事を選ぶ」

佳作 「悲しい出来事から社会を明るく」

◆標語の部◆

〈小学生の部〉

金賞 げんきよく あいさつするよ だれにでも

銀賞 夢がある かなえるために 日々努力

銅賞 思いやり 助け合うこと 忘れずに

〈中学生の部〉

金賞 人と人 つないだ手と手で 広がる輪

銀賞 ありがとう その一言で ほら、もう笑顔

銅賞 優しさで 笑顔の花を 咲かせよう

野塚小6年 佐藤はるか さん

野塚小4年 生駒 雄磨 君

美国中3年 山崎 紗夜 さん

美国中3年 佐藤 星来 さん

美国中3年 鈴木 琴乃 さん

美国小1年 高橋 颯太 君

美国小6年 入間川海星 君

日司小6年 齊藤 仁貴 君

美国中2年 尾見 瑠那 君

美国中2年 藤田 亜美 さん

美国中1年 川村 虹美 さん



▲高瀬昇余市地区保護司会長より松井町長へ法務大臣メッセージが伝達

今年で65回目となる「社会を明るくする運動」が全国各地で様々な催しを行う中、7月8日、北後志5町村の保護司会や関係団体によるパレードが行われ、各町村へ「犯罪や非行のない社会づくり」についての法務大臣、北海道知事メッセージが伝達されました。町では、この強調月間に合わせ、町内の小中学生から応募のあった117名の作文・標語の中から11点の入選作を決定し、7月24日には総合文化センターで松井町長より入賞者への表彰が行われました。

《「作文」・中学生の部》金賞受賞作品

「世代を超えたつながり」

美国中学校3年 山崎 紗夜

私は祖母、父、母、兄の五大家族の三世代で暮らしています。三世代でいることで得るものがたくさんあると感じます。

先日、祖母の友達が私の家に来ておちを作ってくれました。私は作っている様子を見せると観察していただきました。そのときはよもぎもちを作ったので、よもぎを刻むところまで詳しく見ました。それをずっと見て、とても慣れた手つきで速くスムーズにもちを作っているなと思いました。

聞いたところ、その人はもち作りを二十年以上しているそうです。私はそれを聞いてとても驚きました。本やインターネットの作り方を見るのは全く違い、生で作る方を見るのができたのでとてもわかりやすかったです。ずっと見てみると、修学旅行で体験した肉まんづくりと似ていて自分もやってみたくありません。もちにあんこを入れる手伝いをしました。「もちの端の方をつぶして薄くして作ってあげば、うまくいくよ」というアドバイスをもらい挑戦してみました。初めてだったので難しく苦戦しましたが、楽しくとても良い体験になりました。このような体験は広い世代だからできたことだと思いました。もし親子だけで住んでいたなら、お年寄りが家に来るこ

とが少ないと感じました。また、貴重な体験も少なかったと思います。お年寄りからしか学べない大切な知恵を学ぶことができました。

世代が広いので祖母の友達などが私の家に遊びに来ることが多いです。そこでは昔の話をすることがたまにあります。「昔はこうだったよね」と話をしていくことがあります。貴重な話などしてくれることもあります。

私が山菜取りに行ったときに山菜を取るときに気をつけなくてはいけないことを聞きました。フキを取るるとき根から取るとだめだということも学びました。もしも根から取ってしまうと、次に生えてこなくなるそうです。次のことをしっかり覚えて山菜取りをしていることがわかりました。教えてもらわなきゃわからないことだったのでとても貴重に感じました。

私はお年寄りと話することは、とても楽しく学びが多いのでとても好きです。また、世代を超えたつながりがあるって交流もできることがとてもいいです。

三世代でいることで得るものは、新しい知識・発見・楽しみだと思えます。

今後は世代を超えた地域の関わりを大切に、行事などには積極的に参加していきたいです。また、たくさんの方のことを学んでいきたいです。